

第2次多治見市教育基本計画

計画期間 平成30年度～平成34年度

めざす子ども像 — 自立と共生 —

- 自らの力で未来を切り拓き、自立して生きる子ども
- 自他の良さや違いを理解し、共生する子ども

予測が困難な未来を自分の力で逞しく生き抜いていく子どもを育てることを願い、「自らの力で未来を切り拓き、自立して生きる子ども」と、広義のインクルーシブにつながる共生をキーワードに「自他の良さや違いを理解し、共生する子ども」の二つを目指す子ども像としました。

子ども像実現のために

子どもたちが自らの力で様々な課題に挑戦し、自立して生きぬくために必要な「学力・体力・社会性」の成長を図るとともに、共生の基盤となる「自他の良さを認め合える人間性」や「あたたかい人間関係づくり」、「思いやりや支えあいの意識」を育て、自分への小さくとも確かな自信である **自己肯定感** を、全教育活動を通じて育むことで、子ども像の実現を目指します。

計画の体系

インクルーシブ教育の実践を前提に、学力・体力といった個人の資質向上、集団生活における社会性の獲得、それを支える学校・園、地域、家庭という形で体系を整理し、それぞれのステージに事業を関連づけました。



児童・生徒個人

(1) 学力・体力を高める教育の推進

学級・集団

(2) 主体性・社会性を育む教育の推進

学校・園、地域、家庭

(3) 家庭や地域と連携した教育の推進

(4) 健やかな学びを支える教育環境の充実

インクルーシブ教育

(5) 一人ひとりの自立を支援する教育の推進

(6) 多様な課題に寄り添う
広義のインクルーシブ教育の推進